

■概要

イノベーション推進部門は、第4期中長期目標期間開始の本年度より、旧産学連携部門の3室に知財活用と標準化推進の機能を加え、新たに5室体制となった(図1)。

具体的には、オープンイノベーション推進本部内の関係各部署と連携し、研究開発成果の最大化に向け、以下のミッションに取り組んでいる。

- ・共同研究、委託研究、受託研究の各スキームにより外部の研究リソースを有効に活用して、効率的・効果的に研究開発を推進し、より一層の産学官連携の強化に貢献する。
- ・知的財産の適切な確保と有効活用、産学官連携による効果的な標準化活動により、研究開発成果の社会実装を通じたオープンイノベーションの創出に貢献する。

■主な記事

イノベーション推進部門を構成する各室においては、以下の運営方針の下、担当業務に取り組んだ。

1. 連携研究推進室

企業、大学、公的研究機関等との共同研究や、研究者の派遣、受入等の研究者交流を推進し、産学官連携の強化に貢献する。

2. 委託研究推進室

NICTが自ら行う研究との一層の連携強化を図りつつ、産業界や大学等の研究ポテンシャルの活用による委託研究を推進し、産学官連携の強化に貢献する。

3. 受託研究推進室

競争的資金や研究助成金等の外部研究資金の獲得を推進するとともに、その適正な執行を確保し、機構の有する研究開発能力の有効活用を図るとともに、自己収入の拡大及び産学官連携の強化に貢献する。

4. 知財活用推進室

研究者との連携をより深め、発明創出から技術移転まで一貫通貫の知財サービスの提供により、適切な知財の保護と活用を推進し、自己収入の拡大及びオープンイノベーションの創出に貢献する。

5. 標準化推進室

国、産業界及び国内外の標準化機関・団体との密な連携の下、機構の持つ専門的知見や研究開発成果を踏まえた効果的な標準化活動を推進し、オープンイノベーションの創出に貢献する。

なお、主な活動の現況は図2～9のとおりである。

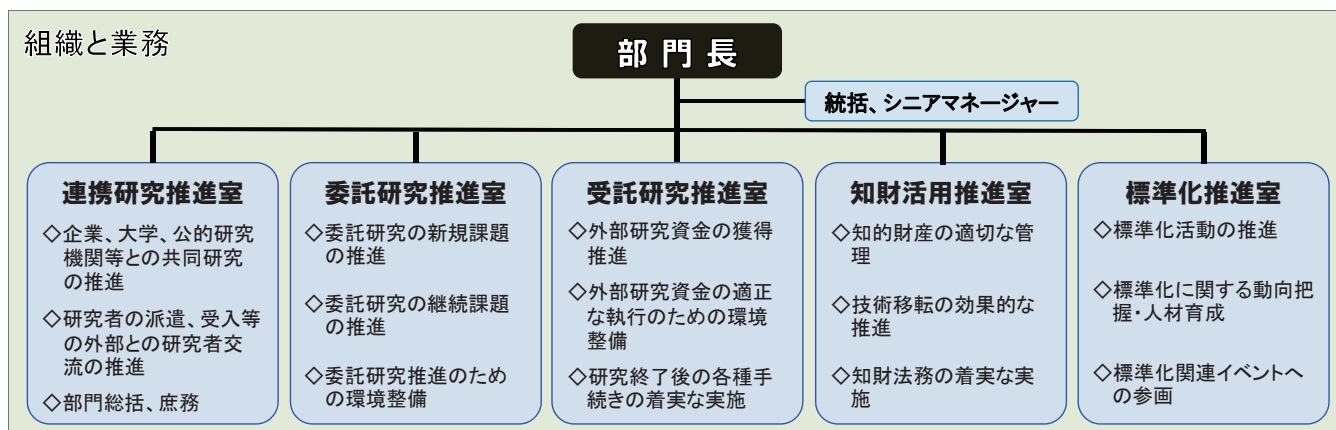


図1 イノベーション推進部門の組織と業務

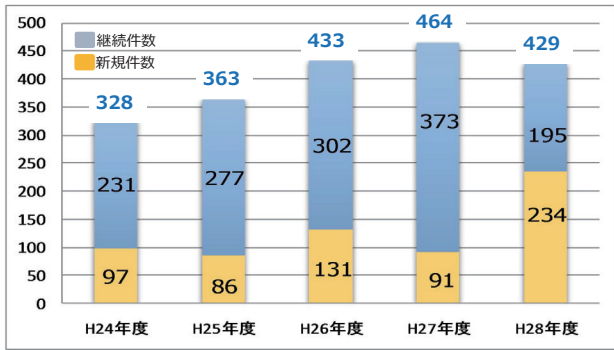


図2 共同研究契約件数の推移

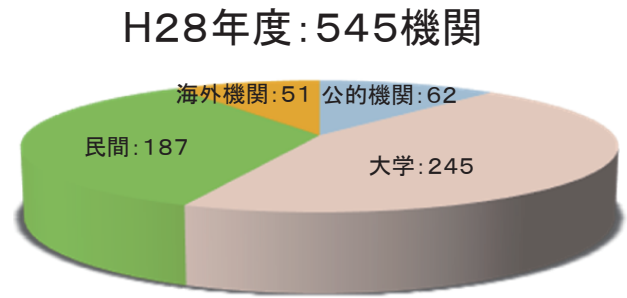


図3 共同研究相手先機関数

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
課題数	新規課題	7	5	3	10
	継続課題	21	24	25	16
	合計	28	29	28	26
契約額(億円)		55	53	50	42

図4 課題数の過去5年間の推移(契約額は小数第1位で四捨五入)

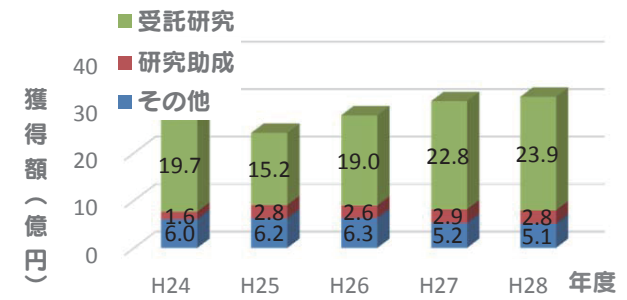


図5 受託研究等獲得額の推移

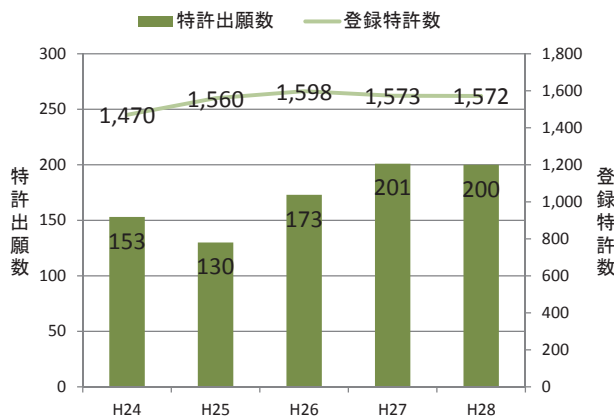


図6 特許数の推移(自主研究)

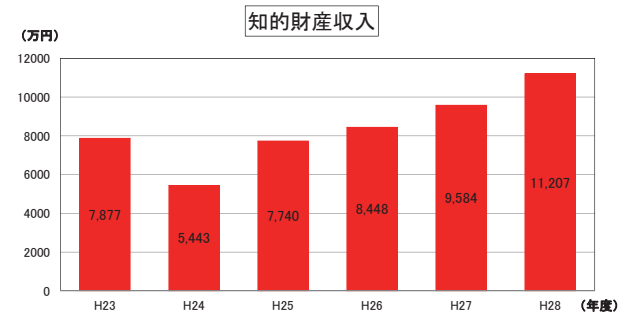


図7 知財収入の推移

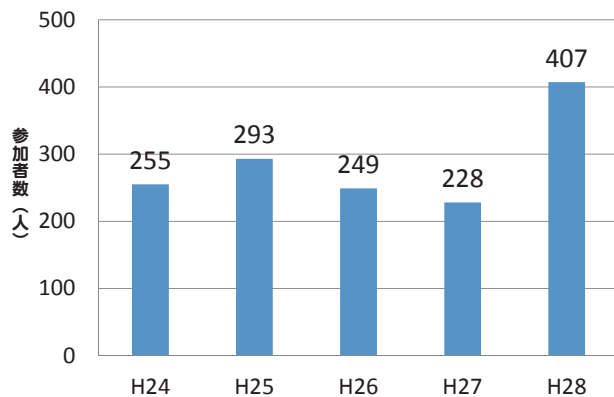


図8 国際標準化会議等への参加者数の推移

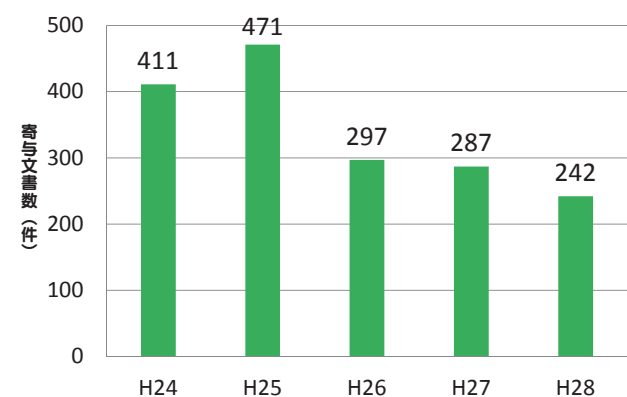


図9 国際標準化寄与文書数の推移